

日医工 ジャーナル

日本における最新の医療機器情報とトレンドを伝える

Vol.40 No.391

2014.10-2015.1



「日本初」「革新的」 医療機器が 業界躍進につながる

山本 要 氏

厚生労働省医政局経済課 医療機器政策室長

米国の医療保険制度の 現状と日本の保険制度、 医療機器開発の行方

渡辺 幸子 氏

株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン
代表取締役社長



渡辺 幸子 氏
株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン
代表取締役社長

日医工 ジャーナル

日本における最新の医療機器
情報とトレンドを伝える

Vol.40
No.391

2014.10-2015.1

会誌 「日医工ジャーナル」
Vol.40 No.391 (年4回発行)
発行日 平成27年1月30日
発行所 一般社団法人 日本医療機器工業会
〒113-0033 東京都文京区本郷3-39-15
電話 03-3816-5575 (代)
FAX 03-3816-5576
印刷所 株式会社東光社
広報企画委員会
委員長 林正晃
委員 坂本 郁夫 穴田 輝彦 樋口 久人
石塚 悟 (管掌理事)
定価 1,000円 (税抜き価格) (会員無料)

[巻頭言]

新春随想・2015 松本 謙一 氏 一般社団法人 日本医療機器工業会 理事長 02

[インタビュー]

「日本初」「革新的」医療機器が業界躍進につながる 03

山本 要 氏 厚生労働省医政局経済課 医療機器政策室長

第2回「医療機器の安全管理を考えるシンポジウム」開催 07

医師、看護師、メーカーなどが各々の立場から意見表明

第50回手術用メスの安全セミナーを終えて 09

山崎 正喜 氏 手術用メス委員会 主査

[インタビュー]

米国の医療保険制度の現状と日本の保険制度、 11

医療機器開発の行方

渡辺 幸子 氏 株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン 代表取締役社長

[委員会活動]

日本医療機器工業会の委員会活動

国際市場での日本の立場強化を側面からサポート 15

ISO/TC121 国内委員会

日本医療機器工業会の委員会活動

医機連との連携により「添付文書改訂」「不具合用語統一」を 17

推進する PMS 委員会

[感染予防]

第5回 企業による感染症予防接種の必要性を問う

接種に関する情報発信は企業団体が適任 19

会員企業紹介 21

[文化]

メディカルデバイス 文化探訪

電子技術の発展とともに進化する「ペースメーカー」 22

[歴史]

日本の医療機器業界の足跡

第9回 医療機器の大きな発展① ～画像診断～ 23

新春賀詞交換会 25

会員情報 26



シンボルマークについて

最初の文字「J」と最後の文字「I」に位置する二つの球体は、最初に行われる「開発」から機器の性能維持に不可欠な最後の「メンテナンス」にいたるまでの全工程を意味している。そしてその二つの球を、無限の可能性を記す「∞」で結び、当工業会の視野の大きさ、工業会会員の幅の広さ、さらに医療機器産業の限りない希望を示している。色は積極的な活動を象徴するレッド、そして清潔感と調和のとれた理性を象徴するグリーン。それを全体的に結びつけることで、工業会会員同士の連携や相乗効果も表現している。